

平成 14 年度

沼津工業高等専門学校動物実験委員会

自己点検・評価報告書

○今年度の主な活動

1) 第1回動物実験委員会

実施日：平成14年4月25日（水）

議題：1. 委員長の選出

委員の互選により■■■■教官が選出された。

2. 委員長による委員長代行の指名

委員長代行は■■■■教官が指名された。

3. 「委員会規則」、「動物実験に関する指針」および活動の内容確認

委員会の活動内容が、動物実験における適切な指針の策定と運用であることを確認した。

4. 平成13年度自己点検・評価報告書の内容確認

確認項目

・動物飼育設備の充実について

・動物飼育と動物実験に関連する法律の検討

2) 第2回動物実験委員会

実施期間：平成14年3月17日（月）～20日（木）

形式：メール会議

議題：1. 平成14年度動物実験報告書の確認

以下の実験について、実験の安全性、糞尿処理、動物の苦痛排除等が適切に行われたことを確認した。

(1) マウスの繁殖・飼育

期間：平成14年4月1日～平成15年3月31日

対象動物：老化促進モデルマウス（SAMP1 および R1/Yag//Nct）

匹数：常時約200匹

(2) 茶及びキノコの抗IV型アレルギー作用の検定実験

期間：平成14年4月1日～平成15年3月31日

対象動物：ICR系マウス（日本SLCより購入）

匹数：180匹

(3) 茶の抗I型アレルギー作用の検定実験

期間：平成15年1月8日～平成15年3月31日

対象動物：ddY系マウス（日本SLCより購入）

匹数：50匹

以上の動物実験に関する補足説明

- ・実験に用いた試薬には、毒劇物および遺伝子操作に関わるものは含まれなかった。
- ・実験に用いた動物は、本校で飼育・繁殖したものか、正規業者（日本SLC社）より購入したもので、定期的な観察により外見上の異常は確認されなかった。また、遺伝子組み換え動物は、使用しなかった。
- ・動物は、エーテル麻酔下に安楽死させた。

- ・ 飼料は通常の市販実験動物用飼料（日本 SLC 社製）、床敷きは通常のチップ（日本 SLC 社製）、飲料水は通常の水道水を使用した。
- ・ 糞尿の処理は、床敷きのチップ（おがくず）として沼津市が可燃物として収集した。

2. 平成 15 年度自己点検報告書の作成

○平成 12 年度の問題点に対する今年度の対応

1) 動物飼育設備の充実について

外部環境への配慮と、飼育動物の飼育環境および飼育者の作業環境改善のために、動物飼育設備の充実を推進する必要がある。昨年度は、「平成 13 年度教育研究基盤校費にかかる校長リーダーシップ経費」において、動物実験室空調環境整備経費を申請し、採択された。これにより、動物実験室に予備空調機が設置され、今年度は既設の空調設備のメンテナンス時等に、この予備空調が活用された。停電時における予備空調設備運転のためのガソリン発電機の購入については、今年度経費では実現できなかったが、引き続き購入を計画する必要がある。

2) 動物飼育と動物実験に関連する法律の検討について

今後とも、関係法規に関する資料の収集、検討を継続する必要があるものと考えられる。